

魅力ある新国立公文書館の展示・運営の在り方に関する検討会 今後の論点(案)

○新たな国立公文書館の基本理念・持つべき機能

- ・新たな国立公文書館が、我が国の公文書管理制度の中で担うべき機能
- ・「世界に誇る」国立公文書館への転換

○新館の展示・学習機能

1) 展示のコンセプト

- ・シンボル展示
- ・常設展示

2) 展示資料の理解を助ける取組の強化

- (例)
- ・魅力ある展示手法の開拓
 - ・多様な来館者に対応した解説サービスの提供(動画・音声ガイドの多言語化、子どもや高齢者といった年代層・障害特性に対応した複数化)

3) 公文書や公文書館の意義を伝える展示・学習機能の強化

- (例)
- ・国立公文書館や公文書管理法の歴史・変遷、世界各国における公文書管理の状況の紹介
 - ・重要な閣議決定など政府の意思決定プロセスを含めた体系的展示
 - ・新館における学習プログラムや教材作成に当たっての外部機関との連携、学習用コンテンツの提供
 - ・見学体験ツアー(例:幅広い年代を対象とした文書を残す意義を学ぶ多彩なプログラム)の提供

4) 憲政記念館との連携

○3館体制における運営強化

1) 一般利用者向けサービスの向上

- (例)
- ・幅広い利用者のニーズに対応できる充実したサービスの提供（レファレンス機能、ボランティアの活用等）
 - ・新館の開館日、開館時間の拡大
 - ・国民的な関心が高い分野の文書の整理（アーカイブ化）、公開
 - ・デジタルアーカイブの充実

2) 研究者向けサービスの向上

- (例)
- ・調査研究支援（専門書職員による相談窓口、検索システム強化）

3) 行政向けの取組強化

- (例)
- ・研修について
 - ・公文書管理課や各省庁との連携強化

4) 地方公文書館向けサービスの向上

- (例)
- ・地方における公文書管理体制構築に向けた連携協力(全国フォーラムの開催等を通じたネットワークの強化、人的交流等)
 - ・大学、研究機関等との連携

5) 憲政記念館との連携

6) 広報機能の強化

- (例)
- ・戦略的広報の強化(体制整備含む)
 - ・所蔵資料(コンテンツ)の商品化

7) 国際連携の強化

8) 国立公文書館の体制強化等

- (例)
- ・組織や体制の強化
 - ・財務基盤の強化(展示会等における入場料の徴収の在り方を含む)
 - ・アジア歴史資料センターとの相乗効果の発揮